

雇用者による家事・ケア労働者のケア実践の受容
—中国都市部を中心に—

○翁 文静（九州大学）

近年、中国都市部では、妊産婦・新生児、子どもや高齢者のケアを外部委託し、家事・ケア労働者¹に任せる人々が増えてきている。家事・ケア労働者は、昔の家政婦と違って、トレーニングセンターで「科学的な」養成講座を受け、資格を取得した後、各雇用者宅に派遣されていく人々である。つまり、家事・ケア労働者たちは、伝統と異なる「科学的な」ケアの知識と方法を持って、各家族にサービスを提供していると言える。

これまでの研究では、家事・ケア労働者の受ける養成講座の内容やプロセス、そして、家事・ケア労働者が積極的に「科学的な」知識と方法を学び、身につけていくことなどを明らかにした（姚 2009, 大橋 2011, 翁 2017）。しかし、家事・ケア労働者の「科学的な」サービスに対して、雇用主がどのように受け止めるのかについてはあまり言及されていない。そこで、今回の発表では、雇用者に焦点をあて、彼らは家事・ケア労働者をどのように思うのか、家事・ケア労働者の提供するケア実践（実践は言語、知識、方法、技術などを含む概念）を受け入れるか否か、受け入れるならどのようにうけいれているか、を探りたい。

調査方法は観察および半構造インタビュー調査である。インタビュー調査に関しては、コロナの影響を受け、一部 SNS(wechat)によるインタビューを行う予定である。なお、半構造インタビュー調査の項目は以下のように設定している。

インタビュー調査項目：

- ① 家族構成、雇用実態（誰のために、誰を雇用するのか。泊まり込みか通いか）
- ② 家事・ケア労働者はどのようなサービスを提供しているのか
- ③ 協力者は家事・ケア労働者のケア実践に賛成するか否か。
- ④ どのようなところを賛成するか任せるか。どのようなところを反対するか任せられないか。
（家事・ケア労働者にどのように助言したのか。指摘したのか。不満があるのか。）
（逆に、家事・ケア労働者のどの実践に賛成したのか。家事・ケア労働者から何を学んだか。）
- ⑤ 家事・ケア労働者のケア実践に対して、雇用者間（シニア世代と若い世代、男女）の違いはあるのか。

予備調査では、雇用者が概ね家事・ケア労働者の「科学的な」サービスを受け入れていること、シニア世代より、若い世代の雇用者がより家事・ケア労働者のケア実践を支持していること、また、妊産婦・新生児ケアに携わる家事・ケア労働者（月嫂）が最も用され、彼女たちの提供するケア実践が最も受容されていることなどがわかった。

注

1. 中国語では家政服務員と呼ぶ。家政服務員は、妊産婦・新生児のケアを担当する月嫂（Sao）、子どもの面倒をみる育児嫂（Sao）、高齢者の介護を担う医療養老護理員などがある。

参考文献

- 翁文静 2017 「中国都市部における家族のケアの資格化—上海市の『家政サービス員』の養成を中心に—」『国際教育文化研究』Vol.17
- 大橋史恵 2011 『現代中国の移住家事労働者—農村・都市関係と再生産労働のジェンダー・ポリティクス』御茶の水書房
- 姚毅 2009 「産後の養成坐月子—中国」『アジアの出産—リプロダクションから見る文化と社会』勉誠版

キーワード：中国都市部、家事・ケア労働者、受容